

学校通信



子安だより

自分が好き 友だちが好き 学校が好き まちが好き

発行日：令和8年 9月30日

発行：横浜市立子安小学校

〒221-0013 横浜市神奈川区新子安 1-36-1

TEL 045-421-0993



遠回りに見えますが

校長 山本 加奈代

9月8日に、5年生と一緒に「心の教育 ふれあいコンサート」に行ってきました。このコンサートでは、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の生演奏を、横浜みなとみらいホールで聴くことができます。出発の際には「プロの楽団の皆さんが奏でる素晴らしい演奏を、たくさん味わって楽しめましょう」と話をしました。子どもたちは、一つひとつの楽器の音色や響き、そして演奏者が心をつなげてつくり上げる音楽を全身で感じ、豊かな音楽の世界に浸っていました。

9月に入り、学校では運動会に向けた活動が始まりました。今年度も「運動会の主役は子どもたち」をモットーに、教職員が伴走者として子どもたちを支えています。

運動会当日までの過程こそが、子どもたちにとって最も大切な学びの時間です。実行委員や係活動、応援団やリレー練習など、休み時間にも意欲的に取り組む姿が見られます。しかし、活動はいつも順調に進むとは限りません。意見がまとまらないこともあれば、思うように協力できなかったり、計画通りに進まなかったりすることもあります。そんなとき、子どもたちは立ち止まり、「どうしたらよいのだろう」と考えます。時間がかかり、気持ちが落ち込むこともあるでしょう。しかし、私はそのような時間こそが、人を大きく成長させる貴重な機会だと思っています。その過程を大切にしながら、10月24日の運動会を迎えたいと考えています。

話は変わりますが、先日、12月に行われるウインターコンサートに向けた6年生代表の話し合いに参加しました。先生から「みんなにとってウインターコンサートは、どんな場ですか」と問いかけられると、「毎年全力で取り組んできた場」「6年生の歌の力を発揮したい」「全校が一つになる場」「授業の成果を発表する場」「大好きな行事だから他の学年にも楽しんでもほしい」「次の世代につなげたい」など、多くの思いが語られました。

子どもたち一人ひとりが、ウインターコンサートを自分や仲間が輝ける大切な場と捉えていることが伝わり、とてもうれしく感じました。子どもの思いや願いには、大きな力があります。私たち教職員は、その思いを受け止めながら実現に向けて支えていきたいと考えています。

運動会やウインターコンサートなどの行事を通して、仲間と協力し、考え、悩みながら創り上げる経験は、学校だからできる大切な学びです。友達と話し合い、自分と異なる考えに触れ、ときには思うようにいかない経験もします。それは遠回りに見えるかもしれませんが、一つひとつの経験が確かな成長につながっています。この過程を通して自信や達成感を積み重ねてほしいと思います。これらの行事を通して、「やってよかった」「がんばれた」という思いをたくさん味わってほしい、そして、そういう子どもたちの姿を保護者や地域の皆様に見ていただき、応援していただきたいと思っています。